

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 6 月 19 日現在

機関番号：14301

研究種目：挑戦的萌芽研究

研究期間：2011～2013

課題番号：23653244

研究課題名(和文) 専門職教育と専門職性に関する異業種間比較研究 成人教育学の観点から

研究課題名(英文) Comparative InterProfessional Study on the Professional Education and Professionalism: From the Viewpoint of Adult Education

研究代表者

渡邊 洋子 (WATANABE, Yoko)

京都大学・教育学研究科(研究院)・准教授

研究者番号：70222411

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,700,000円、(間接経費) 810,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、多様な専門職教育の異なる実態や共通課題を、医師・医療者(看護師・理学療法士など)養成、企業内教育、現場型行政官教育(海上保安官養成など)、教師・保育士養成、社会教育関連専門職(学芸員・社会教育主事・図書館司書)養成、法律家養成、学術的研究者養成などを手がかりに、領域を超えて横断的に探究する。多職種連携教育(InterProfessional Education)の実践交流モデルの開発・構築への取り組みとそれを踏まえた異業種間比較研究からなり、先行研究の乏しい専門職教育と専門職性に関わる研究領域で、専門職性の包括的研究への契機・可能性を得ることを目指した。

研究成果の概要(英文)：This pilot study intends to clarify the different feature of professional education in various field as well as the common problems and topics cross-sectionally shared among their educators. The fields covered here are medical doctors, nurses and other health professionals; in-service training of enterprise; field administrative officers; school and nursery teachers; personnel specialists in lifelong learning including adult educator, curator, and librarian; lawyers; academics and so on. The study consists both of the development of the practical exchange model of InterProfessional Education (IPE) and of the InterProfessional comparative study based on it. As there are not so many previous works on professional education and professionalism per se in the studies of lifelong education, this study tried to build up the common base of the research in the InterProfessional settings.

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：教育学、教育学

キーワード：専門職 専門職教育(養成) 多職種連携/異業種間教育 職業教育 生涯学習・教育 インフォーマル学習・教育 ネットワークモデル 振り返り(省察)

### 1. 研究開始当初の背景

従来、欧米の成人教育の成立経緯やその理論や実践について著書や監訳書で明らかにしてきた(渡邊洋子『生涯学習時代の成人教育学』(2002)、P.ジャーヴィス著・渡邊洋子他監訳『生涯学習支援の理論と実践』(2011)等)が、近年は特に、日英の医学教育を中心とする専門職教育に(生涯)教育学専攻者が果たす役割(萌芽研究「医学教育従事者の専門職研修に関する成人教育的実践研究 教育学専攻者を中心に」(H.19-21、研究代表者:渡邊洋子))および主に医療系で普及しつつある InterProfessional Education(多職種連携・異業種間教育)の可能性に注目してきた。

### 2. 研究の目的

現代日本の専門職教育の実践がどのように企画・実施され、そこでの教育実践者(講師、メンバー、研修担当者など)はどのような課題に直面しているかを成人教育学の観点から多面的・実践的に検討し、欧米を中心に発達してきた成人教育が日本の専門職教育・専門職者養成にいかなる貢献をなし得るかを、専門職教育や InterProfessional な機会を企画・運営する中で解明する。

### 3. 研究の方法

第一に、InterProfessional Education の新たな展開があるイギリスで、専門職教育の教育プログラムや実践の実地調査を行い、専門職教育の実践における成人教育の役割を考察する。第二に、国内で専門職教育の実践に携わり、それを記録・相互評価し、専門職教育に求められる教育的諸要素に関する実践研究を行う。第三に、多領域の専門職者を対象とする InterProfessional な学習機会(定例研究会、インターネットサイト、ワークショップ等)を企画・運営し、そこでの学びから、専門職教育の共通課題を抽出する。

### 4. 研究成果

初年度には、京都大学 IPE 研究会として英国フィールド調査、専門職教育に関わる実践へのアクションリサーチと参与観察、メンバー用 HP の立ち上げを行った。2011年8月には、賛同するメンバーが東京 IPE 研究会を結成し、京大 IPE と適宜情報交換しつつ独自の活動を展開した。2013年2月、京大 IPE 研究会を関西 IPE 研究会に拡大・再編し、同3月にジャーヴィス博士を迎えた第2回 IPE セッションを開催した。同研究会は以後、定例研究会と同時に、新たなインターネットサイトで時間と空間を超えた IPE 情報ネットワークの実験的試行を繰り返した。2014年3月8日には、京都大学総合博物館の特別展示と連動する IPE 公開ワークショップを開催し、多様な領域の専門職者が共通テーマを異なる観点から話し合う IPE 学習モデルを提起した。また3年間の経験を、専門

職教育ハンドブックの試行版の編纂、学会発表や論文執筆、最終報告書などの学術的成果として発信した。同研究会活動は、今後も京都大学教育学研究科教育実践コラボレーション・センターの事業の一環として行い、IPE 基盤型・領域横断型の専門職教育研修プログラムの開発、専門職教育ハンドブックの改訂・刊行作業などに携わる。

### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 9 件)

渡邊洋子、InterProfessional Education の意味と可能性、京大大学生涯教育フィールド研究、査読無、vol. 2、2014、pp. 3-8

佐伯知子、IPE(Inter-Professional Education)をめぐる経緯と現状、課題 医療専門職養成の動向を中心に、京大大学生涯教育フィールド研究、査読無、vol. 2、2014、pp. 9-19

柴原真知子、<特集>英国成人教育学・生涯教育学研究者 P・ジャービス教授来日記念論稿集、京大大学生涯教育フィールド研究、査読無、vol. 2、2014、pp. 99-122

柴原真知子、関西 IPE 研究会 活動報告 「専門職教育者交流型 IPE」の可能性と課題、京大大学生涯教育フィールド研究、査読無、vol. 2、2014、pp. 135-141

渡邊洋子、リスク社会と学習課題 3.11 以後は私たちに何をつきつけたか、京大大学生涯教育フィールド研究、査読無、vol. 1、2013、pp. 3-12

吉田正純、「第三の道」以後のシティズンシップと生涯学習の再編、京大大学生涯教育フィールド研究、査読無、vol. 1、2013、pp. 13-21

渡邊洋子、調査報告 多様性と参加拡大を掲げるイギリス大学入試改革と生涯教育学的示唆 オックスフォード・ケンブリッジ両大学等でのインタビュー調査から、京大大学生涯教育フィールド研究、査読無、vol. 1、2013、pp. 53-66

渡邊洋子・柴原真知子、イギリスにおける女性医療専門職の誕生と養成・支援活動 バイオニア女性のキャリア確立プロセスに関する成人教育的考察から、京大大学院教育学研究科紀要、査読有、59号、2013、pp. 99-123

渡邊洋子、書評 森山沾一著『社会教育における人権教育の研究：部落解放教育が人間解放に向け切り拓いた地平』、日本社会教育学会紀要、査読無、48、2012、pp. 117-119

[学会発表](計 11 件)

渡邊洋子、究極の現場から Professional

ism と InterProfessionalism を考える  
国際人同組織 ICRC の活動をシェアして語り合う(企画・コーディネーター) IPE 研究会 公開ワークショップ 2014 in 京都大学、2014年3月8日、京都大学百周年時計台記念館(京都府京都市)  
渡邊洋子、My Teaching をどのようにデザインし改善するか 授業評価の有効な活用方法とは、第10回北里大学高等教育開発センター講演会(招待講演)、2013年11月7日、北里大学(神奈川県相模原市)  
渡邊洋子、どうすれば授業は良くなるのか?(講師・コーディネーター)、平成25年度奈良県立医科大学医学教育フォーラムとワークショップ(招待講演)、2013年9月1日、奈良県立医科大学(奈良県橿原市)  
渡邊洋子、成人学習の社会学に向けて Peter Jarvis の提起をどう受け止めるか(シンポジスト)日本学習社会学会第10回大会公開シンポジウム、2013年8月31日、関西大学100周年記念会館(大阪府吹田市)  
渡邊洋子・佐伯知子・柴原真知子、専門職教育者にとっての InterProfessional Education その意味と可能性、日本学習社会学会第10回大会、2013年8月31日、関西大学100周年記念会館(大阪府吹田市)  
Machiko Shibahara & Yasuhiko Konishi、Learning / non-Learning Process and Key Aspects of Teaching in Clinical Placements: An analysis of medical students' self-descriptions on their learning experience、Association of Medical Education in Europe、2013年8月28日、Prague Congress Centre(チェコ共和国プラハ市)  
柴原真知子・錦織宏・小西靖彦、教育質保証視察事業における「医学生の声」の役割 General Medical Council 視察報告書の分析から、第45回医学教育学会大会、2013年7月26日、千葉大学医学部(千葉県千葉市)  
渡邊洋子・岡田彩子・米岡裕美・佐伯知子・柴原真知子、ストラテジーとしてのSDL(自己主導型学習) 入門編(企画・講師)、第48回医学教育セミナーとワークショップ in 京都大学、2013年6月9日、京都大学百周年時計台記念館(京都府京都市)  
渡邊洋子・柴原真知子、学習理解と学習支援の考え方(企画・講師)、FD ワークショップ(招待講演)、2013年5月8日、聖マリアンナ医科大学(神奈川県川崎市)  
渡邊洋子、ポートフォリオの考え方と認定ポートフォリオ、医学ポートフォリオ評価ワークショップ、2013年4月13日、東京大学国際医学教育センター(東

京都文京区)  
吉田正純、ポスト「第三の道」のシティズンシップと生涯学習論、日本社会教育学会第59回研究大会、2012年10月7日、北海道教育大学釧路校(北海道釧路市)

〔図書〕(計 9件)

前平泰志監修、渡邊洋子編著、吉田正純・柴原真知子・佐伯知子 他著、ミネルヴァ書房、生涯学習概論 知識基盤社会で学ぶ・学びを支える(渡邊洋子「生涯学習の場としての公共施設を考える 本と出会う場としての図書館」、渡邊洋子「生涯学習の内容と学習課題」、吉田正純「生涯学習の学びを支える『教育方法』」、柴原真知子「生涯学習社会における学習支援者の仕事と役割」、佐伯知子「生涯学習の学習評価と成果の活用」)、2014、276 (pp. 1-7、81-99、100-115、118-136、156-171)  
渡邊洋子、北里大学高等教育開発センター、My Teaching をどのようにデザインし改善するか 授業評価の有効な活用方法とは(高等教育開発センター叢書 FD・SD シリーズ Vol.11)、2014、47  
相庭和彦・渡邊洋子編著、明石書店、日中韓の生涯学習、2013、304  
京都大学大学院教育学研究科教育実践コラボレーション・センター編集、円環する教育のコラボレーション(渡邊洋子「『祭り』という文化伝承・継承空間」)、2013、137 (pp. 120-131)  
辻本雅史他監修、京都大学学術出版会、東アジア新時代の日本の教育 中国との対話(渡邊洋子・吉田正純、「戦後社会教育をめぐる論点と生涯学習の現代的課題」(第10章))、2012、370 (pp. 179-193)  
子安増生・杉本均編、ナカニシヤ出版、幸福感を紡ぐ人間関係と教育(渡邊洋子「コラム・おとなにならないことは幸せか」)、2012、244 (p. 140)  
渡邊洋子、京都大学大学院教育学研究科・渡邊洋子、女性専門職教育の源流 吉岡彌生の「女医」養成論の生涯教育的研究(博士学位論文)、2012、171  
Dane Goodsmann 著、京都大学 IPE 研究会 渡邊洋子(監訳)・吉田正純・柴原真知子・鏑純香・蓮尾浩之、近畿大学・平出敦、指導医/教員の為の実践基盤型教育(CME プログラムハンドブック)(日本医学教育学会富士研ワークショップ参加者配布用)、2011、31  
Project on the Education of Turkish and Japanese Women for Social Development、Pozitif Maltbaa、Ankara、Women's Education in Turkey and Japan for Social Development (Yoko WATANABE、"Women, Work, and Education in Modern Japan: An Observation of The Care

er Life and The Social Role of Yayoi  
Yoshioka”)、2011、395 (pp. 180-206)

〔産業財産権〕

出願状況(計 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

取得状況(計 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

IPE 研究会 公開ワークショップ 2014 in  
京都大学 URL : <http://www.educ.kyoto-u.ac.jp/collabo/event/378/>  
異業種専門職比較研究・異業種連携教育  
(InterProfessional Education)のプログラム開発 URL : [http://www.educ.kyoto-u.ac.jp/collabo/center\\_active/education\\_kukan/](http://www.educ.kyoto-u.ac.jp/collabo/center_active/education_kukan/)

6. 研究組織

(1) 研究代表者

渡邊 洋子 (WATANABE, Yoko)  
京都大学・教育学研究科・准教授  
研究者番号 : 7 0 2 2 2 4 1 1

(2) 研究分担者

吉田 正純 (YOSHIDA, Masazumi)  
京都聖母女学院短期大学・児童教育学科・講師  
研究者番号 : 3 0 5 4 7 3 7 8

(3) 連携研究者

( )

研究者番号 :

(4) 研究協力者

佐伯 知子 (SAEKI, Tomoko)  
大阪総合保育大学・児童保育学部・講師  
研究者番号 : 9 0 5 1 7 2 1 0

柴原 真知子 (SIBAHARA, Machiko)  
京都大学・医学研究科・助教  
研究者番号 : 4 0 6 2 5 0 6 8